



## ボッシュ、2022年に4億ユーロ超を半導体工場に投資 ドレスデン、ロイトリンゲン、さらにペナンで工場を拡充

2021年10月29日  
PI 11404 BBM Fi/af

- ▶ ボッシュは半導体チップの需要急増に対応
- ▶ ドレスデンの300mm ウエハ製造工場での増産を加速
- ▶ 2023年末までにロイトリンゲン工場のクリーンルームスペースを4,000 m<sup>2</sup>追加
- ▶ ボッシュはロイトリンゲン工場で半導体開発に向け150人分の雇用を創出
- ▶ 新しい半導体テストセンターをペナンに建設

シュトゥットガルト(ドイツ)– 世界的な半導体不足に直面し、グローバル規模で革新的なテクノロジーとサービスを提供するボッシュは、さらなる設備投資に注力しています。ボッシュは、ドレスデンの新しいウエハ製造工場のオープンからわずか数週間後に、半導体製造工場への億単位となる更なる投資を発表しました。ボッシュは、2022年だけで4億ユーロ以上を投資し、ドイツのドレスデンとロイトリンゲンのウエハ製造工場の拡充、そしてマレーシアのペナンにおける半導体テストセンターの建設を計画しています。ロバート・ボッシュ GmbH 取締役会会長のフォルクマル・デナーは、「半導体への需要が急増しているという現況を踏まえ、お客様に最善のサポートを提供できるよう、半導体の製造体制を計画的に拡大しています」と述べています。今回発表された投資額の大部分は、ドレスデンの300mm ウエハ製造工場に充てられ、2022年には製造能力が拡大される予定です。また翌年には、約5,000万ユーロがシュトゥットガルト近郊のロイトリンゲンにあるウエハ製造工場に投じられます。ボッシュは2021年から2023年にかけて計1億5,000万ユーロを同工場に投資し、クリーンルームスペースの増設を図る予定です。ボッシュはさらに、マレーシアのペナンに半導体テストセンターの建設を進めています。2023年から、このセンターでは完成した半導体チップとセンサーのテストができるようになる見込みです。「これらの投資計画は、半導体という中核技術の製造能力を自社で有することがいかに戦略的に重要であるかということを示しています」と、デナーは述べています。

## **ドレスデン工場ではより迅速な増産、ロイトリンゲン工場ではクリーンルームスペースの増設を実現**

「ドレスデン工場では半導体チップの増産を加速し、ロイトリンゲン工場ではクリーンルームスペースの増設を図る予定です。こうして供給量を増やすことが、現状の改善に少しでも役立つと見ています」と、ロバート・ボッシュ GmbH 取締役会メンバーのハラルド・クローガーは述べています。現在は計 3 万 5,000 m<sup>2</sup>のロイトリンゲン工場のクリーンルームスペースに、2 段階に分けて 4,000 m<sup>2</sup>超が追加されることになります。なお、200mm ウエハ製造エリアを 1,000 m<sup>2</sup>広げて計 1 万 1,500 m<sup>2</sup>にする第 1 段階の工事はすでに完了しています。この工事では、数カ月かけてオフィススペースをクリーンルームに改装し、橋を渡して既存のウエハ製造工場とつなげる作業も行われました。新しい工場では、9 月からウエハの製造がスタートしています。「私たちはすでに、200mm ウエハの生産能力を約 10%引き上げることができました」と、クローガーは語ります。この工事のための支出額は、約 5,000 万ユーロに達しています(2021 年)。こうした取り組みを通じて、ボッシュは特に MEMS センサーと SiC(炭化ケイ素)パワー半導体に対する高まる需要に対応しています。拡張工事の第 2 段階では、2023 年末までにクリーンルームスペースがさらに 3,000 m<sup>2</sup>拡大されることになっており、そのためにボッシュは 2022 年および 2023 年に約 5,000 万ユーロを投資する予定です。またボッシュは、ロイトリンゲン工場における半導体開発に向け、150 人分の雇用を新たに創出することにしています。

## **ペナンに新しいテストセンターを建設**

2022 年に計画されている投資の一部は、ペナンでの新しい半導体テストセンターの建設に投じられます。この高度に自動化・ネットワーク化された工場で、2023 年から半導体チップとセンサーのテストが行われることになります。ボッシュはペナン州本土の商業地域に 10 万 m<sup>2</sup>超の用地を確保しており、段階的に開発を進めていく予定です。テストセンターの延べ床面積は約 1 万 4,000 m<sup>2</sup>に達し、クリーンルーム、オフィスエリア、研究開発／トレーニング施設などが設けられ、ここで最大 400 人の従業員が働くことになります。新センターの造成工事は 2020 年末から、建物の建設は 2021 年 5 月に始まっています。なお、テストセンターの操業開始は 2023 年を予定しています。ペナンにセンターを開設してテスト能力を引き上げることにしたのは、ロイトリンゲン工場の SiC(炭化ケイ素)パワー半導体のような、ボッシュのウエハ製造工場の新しい技術に今後さらに対応できるようにしたいという狙いがあるためです。また、アジアに新しい拠点を設けることで、半導体チップの輸送距離と時間の短縮にもつながります。

## **他社にない強みとなる半導体**

マイクロエレクトロニクスは、ボッシュの事業分野全体の成功のカギとなる重要な要素です。ボッシュはこの技術の可能性を早い段階で認識し、60 年以上にわたり半導体の製造を手がけています。これによりボッシュは、マイクロエレクトロニクスを深く理解し、エレクトロニクスとソフトウェアに関する豊富な専門知識をもつ数少ない企業のひとつとなっており、この競争上の優位性と半導体製造における強みを融合させることができます。ロイトリンゲン工場では、1970 年から半導体の製造を行っており、ここから送り出された半導体は家電製品と車載用途に用いられています。特に現代の車載電子機器

は、排出ガスの削減、交通事故の防止、そしてパワートレインの効率性の向上を実現するための基盤となっています。「ボッシュは特殊半導体と自動車に関する豊富な専門知識を持ち、優れた電子システムを開発することができます。この能力は、ボッシュのお客様にとってはもちろん、今後も安全で効率的なモビリティを楽しみ続けたいと考えている多くの方々にとっても役立ちます」と、クローガーは述べています。ドレスデンの300mm ウエハ製造工場での製造は、当初の予定よりも6カ月前倒しされ、今年7月からスタートしています。この新工場で製造された半導体チップは現在、ボッシュの電動工具に取り付けられています。自動車メーカー向け半導体チップの製造も、3か月前倒しの9月から開始しています。ボッシュは2010年に200mm ウエハの製造を開始して以来、ロイトリンゲンとドレスデンのウエハ製造工場へ25億ユーロ超を投資、さらにマイクロエレクトロニクス開発向けに数十億ユーロを投資しています。

#### 詳細情報:

[Fact sheet about semiconductor production at Bosch \(英語のみ\)](#)

[Fact sheet about the Bosch wafer fab in Reutlingen \(英語のみ\)](#)

報道用画像: 52ab997c, e52fc3e0, a092ebf2, ee633fca, 6b8bb829

#### 報道関係対応窓口:

Annett Fischer

電話: +49 711 811-6286

Twitter: @Annett\_\_Fischer

モビリティソリューションズは、ボッシュ・グループ最大の事業セクターです。2020年の売上高は421億ユーロで、グループ総売上高の59%を占めています。モビリティソリューションズの売上により、ボッシュ・グループはリーディングサプライヤーの地位を確立しています。モビリティソリューションズ事業は、安全でサステイナブルかつ魅力的なモビリティを目指し、パーソナライズ化、自動化、電動化、ネットワーク化の領域においてグループ全域にわたる知見を結集させ、お客様にモビリティのためのトータルソリューションを提供します。その事業領域は主に、内燃機関の燃料噴射テクノロジー／パワートレイン周辺機器、パワートレイン電動化のさまざまなソリューション、車載向け安全システム、ドライバーアシスタンスシステム／自動化機能、ユーザーフレンドリーなエンターテインメントやVehicle-to-Vehicle (車車間)およびVehicle-to-Infrastructure (路車間)通信、オートモーティブアフターマーケット向けのリペアショップコンセプト／テクノロジー／サービスなどです。さらにボッシュは、電気駆動マネジメントや横滑り防止装置ESC (エレクトロニックスタビリティコントロール)、ディーゼル用コモンレールシステムなどの自動車の重要な革新技術を生み出してきました。

#### 世界のボッシュ・グループ概要

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。2020年の従業員数は約39万5,000人(2020年12月31日現在)、売上高は715億ユーロ(約8.7兆円\*)を計上しています。現在、事業はモビリティソリューションズ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・ビルディングテクノロジーの4事業セクター体制で運営しています。ボッシュはIoTテクノロジーのリーディングプロバイダーとして、スマートホーム、インダストリー4.0さらにコネクテッドモビリティに関する革新的なソリューションを提供しています。ボッシュは、サステイナブル、安全かつ魅力的なモビリティを追求しています。ボッシュはセンサー技術、ソフトウェア、サービスに関する豊富な専門知識と「Bosch IoT cloud」を活かし、さまざまな分野にまたがるネットワークソリューションをワンストップでお客様に提供することができます。ボッシュ・グループは、AI(人工知能)を搭載する、もしくはAIが開発・製造に関わった製品を提供することで、コネクテッドドライブを円滑にす

ることを戦略目標に掲げています。ボッシュは、革新的で人々を魅了する全製品とサービスを通じて生活の質の向上に貢献します。つまり、ボッシュはコーポレートスローガンである「Invented for life」人と社会に役立つ革新のテクノロジーを生み出していきます。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbH とその子会社 440 社、世界約 60 カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売／サービスパートナーを含むグローバルな製造・エンジニアリング・販売ネットワークは世界中のほぼすべての国々を網羅しています。ボッシュは 2020 年第一四半期に、世界 400 超の拠点をカーボンニュートラルを達成しています。ボッシュの未来の成長のための基盤は技術革新力であり、世界 129 の拠点を約 7.3 万人の従業員が研究開発に、そのうち約 3.4 万人がソフトウェアエンジニアリングに携わっています。

\*2020 年の為替平均レート、1 ユーロ=121.8458 円で計算

さらに詳しい情報は 以下を参照してください。

[www.bosch.com](http://www.bosch.com) ボッシュ・グローバル・ウェブサイト (英語)

[www.bosch-press.com](http://www.bosch-press.com) ボッシュ・メディア・サービス (英語)

<https://twitter.com/BoschPresse> ボッシュ・メディア 公式ツイッター (ドイツ語)

[www.bosch.co.jp/](http://www.bosch.co.jp/) ボッシュ・ジャパン 公式ウェブサイト (日本語)

<https://twitter.com/Boschjapan> ボッシュ・ジャパン 公式ツイッター (日本語)

<https://www.facebook.com/bosch.co.jp> ボッシュ・ジャパン 公式フェイスブック (日本語)

<https://www.youtube.com/boschjp> ボッシュ・ジャパン 公式 YouTube (日本語)